

わんぱくぱんだ

H27.07.31



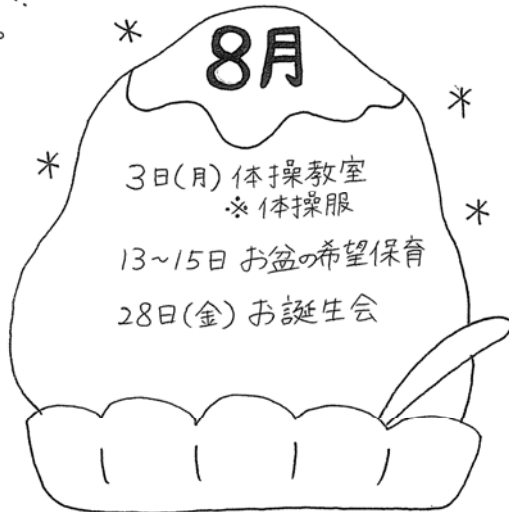
ぐんぐん暑くなる夏の日差しにも負けないほど、元気いっぱいの子どもたち。汗をたくさんかきながらも、毎日、園庭を、駆け回っています。夏の暑さと共に、子どもたちの疲れも、出やすい季節になっていきますので、水分や休息をとって、体調管理に努めていきたいと思ひます。



プールがはじまりました!!

プールでは、水のかけ合いやワニ歩き、顔つけの練習に取り組み。後半は、うきお等を使い、自由に遊んでいます。水が大好きな子が多く、ダイナミックに遊ぶ姿が見られています。また、水が苦手だった子も、昨年からは大きく成長が見られ、水のかけ合いでは、白熱した戦いが、繰り広げられています。

- 汗拭きタオルを持参して下さい。着替え(パンツ、Tシャツ)、洗濯物を入れる袋と共に、アンパンマンの靴の中に入れて、毎日、持ってくるようにして下さい。
- 戸外で、水を使って、砂場遊びをする機会が増えました。その際、服が汚れてしまうことも時々あります。お家での洗濯、ご理解・ご協力を頂けると嬉しいです。お願い致します。



8月

3日(月) 体操教室
※体操服

13~15日 お盆の希望保育

28日(金) お誕生会

🍡・🍡・すきすきぱんだ🍡・🍡・🍡・🍡

泥団子ゲームがやってきました。“ぱんだ泥団子か”と思いきや、泥団子作りは、実はとても奥の深いあそびなのです。まず、コツをつかむまでは、なかなか固まらず、ここで挫折してしまう子もいます。そこで、忍耐力のある子は、何度も挑戦し、試行錯誤し、友達のやり方を真似たり、教えてもらったりして、できるようになっていきます。一番初めの泥選びにでさえ、コツがあるので!!

泥の固まりができた次は、“乾いたさら砂”をかけてはギュッと固め、かけては固め、をくり返していき、だんだん泥団子は、大きく、きれいに、できていきます。

そうやって、がんばってできた泥団子を、子どもたちは、とても大切に扱います。一生懸命、手の中で育てあげた泥団子ですから、愛着を持っているのでしょう。大切な泥団子は、カップの中に入れ、自分の下駄箱に、保管しています。

ぜひ、ご家庭で遊びに行った際にも、子どもたちと一緒に、手を泥だらけにしなが、楽しんでみて下さい!! 案外、大人の方が真剣になってしまいかもかもしれませんよ!?



昨年度より、年中を通して、ゲームを起こしているのが、**虫探し**です!! バケツとスコップを持ち、歩き回る姿は、もう見慣れた光景です。

ダンゴ虫やミミズ、カエル、バッタ、カミキリムシなど、その季節に応じた虫を見つけては、捕まえています。7月頭には、ダンゴ虫の出産現場に、立ち会うことができました。

最近では、見つけた虫を、図鑑を見て探す姿も、見られるようになってきました。



エピソード

泥団子を作っていたAくんは、いつものように、カップの中に、泥団子を入れようとしたが、ふと手が止まりました。

Aくん「砂入れといたら良いんかな?」
担任「ん? どうしたん?」
Aくん「だてこの前、泥団子入れといたら、壊れとたんやもん。砂入れといたら、壊れんかな?」
担任「そうや、たんかー。」
じゅあ入れといてみよ、か!」

以前の経験から、壊れないようにするには、どうしたら良いか、Aくんなりに考えたようです。自分なりに考え、試してみるということは、大切なことですね。